

飛行船

令和7年 冬号
王寺工業高等学校
文化図書委員会広報係発



第5回王エビブリオバトル

～人を通して本を知る 本を通して人を知る～

11月12日放課後、視聴覚室にて、第5回王エビブリオバトルが行われました。7人のバトルさんが参戦、緊張しながらも、お気に入りの本について熱く語ってくれました。会の最後に校長先生が「上手に話すことができなくても、気持ちで伝わることがわかった」とお話しくださったとおり、話したいことをすべて伝えられたバトルさんはいなかったかもしれませんが、観戦者はわかっていましたよ！すべての本に票が複数入り、混戦でした。今回は特に、サブタイトルの「本を通して人を知る」を感じた回でした。お気に入りの本との関わりを話した人が多く、その感じ方、考え方に人柄が出ていて聞き入ってしまいました。



ところで、校長先生も時間があるときは年間200冊を読破した本好きでいらっしゃるそうです。「話を聞いて、読みたくなった本がありましたよ」とおっしゃっていました。どの本でしょうね！

旋盤愛！
徐々にのめり込んでいます！

一般的に悪者とされるヒトラーも、悪い部分だけではないということを知ってもらいたかった。ヒトラーから見たらイギリスも敵なんです。

この本は自分にとっては辛口でしたが人によっては甘いと言う人もいます！です！ いいね！

考え方が素敵！



2年連続おめでとう！楽しいスピーチに心つかまれました！



自分が選ぶと偏ってしまうので、図書室でオススメの本を聞いて、この本を選びました。自分が好きな本、好きな作家にこだわらず、いろんな本を読んでほしいです。

小学生が「AのスーパーとBのスーパーどちらに行けばいいかを占ってほしい」って。占い一回3000円ですよ！

笑笑

図書委員のオススメ本

『世界の果てのこどもたち』
／中脇初枝／講談社

タイトルや表紙とは違い、戦争についての内容で、考えさせられる作品です。あまり本を読む機会が無いけれど興味があるという方はぜひ手に取ってみてください。

(2年 K)

『手づくりジュース』
／川野妙子／池田書店

作り方がわかりやすく書かれており、完成品の写真がのっていて、どんなができるかがよくわかる。そのジュースがひきだす効果がわかりやすい。カロリーまで書いてある。そして材料なども細かくのっている。ジュースを作ったことがない人でもわかりやすく書いていて作りやすい。

(2年 K)

☆ビブリオバトルって？

バトルさんが、5分間(本校では3分)1冊の本を紹介し、そのあと観戦者と質疑応答を行います。すべての発表後、観戦者は一番読みたくなった本に票を入れて、最多票を獲得したチャンプ本を決める書評会です。

笑笑

スマホを落として戻ってくる確率は7%!戻ってきてラッキーなはずの主人公の彼女が…

ぞくつ…

アリストテレスという哲学者がいるので、最初はこのタイトルが気になりました。でも本の中にアリスもテレスも登場しないんです！

7人(+先生)のバトルさんが紹介してくれた本はこちら！

クルマ愛！

書名	著者	出版社
アリスとテレスのまぼろし工場	岡田麿里	角川文庫
スマホを落としただけなのに	志駕晃	宝島社文庫
現場で役立つ旋盤加工の基本と実技	石田正治	秀和システム
わが闘争	アドルフ・ヒトラー	角川文庫
クルマのすべてがわかる事典	青山元男	ナツメ社
強運の持ち主 今回のチャンプ本	瀬尾まいこ	文藝春秋
人てなしの恋	江戸川乱歩	立東舎
やる気に頼らず「すぐやる人」になる37のコツ	大平信孝	かんき出版

車が好きなので、とことん勉強しようとして、図書室で借りた本が気に入って同じ本を購入してしまいました。

↑集計中に行う、松原先生のバトル姿もすっかり恒例になりました。今回は反則技(笑)のパワーポイントを使った語りでした。文字の大きなスライドと説明はわかりやすかったですね。そのまま実行に移さなくても、人によってやり方を変えていい、という先生の言葉には説得力がありました。

文化講座 第1回 「王工博士ちゃん」

11月14日放課後、視聴覚室で「第1回王工博士ちゃん」が行われました。

「レトロゲーム博士ちゃん」は、本人も、昔のゲームなので実際にはほとんどやったことがないという、生まれる前の時代のゲームのハード面ソフト面について熱く語ってくれました。それぞれのゲーム本体の特化したところ、実際のゲームの様子を取り入れたスライドで画像の特徴まで、マニアックな話を繰り広げてくれました。レトロゲームを手に入れることは難しいけれど、とにかく調べるのが楽しいそうです。

昭和世代よりよく知ってる!



文化図書委員の点てたお茶の味は?



王工祭で文化図書委員がお茶席を催しました。コロナ後再開して2年目ということで、お茶とお菓子の味を覚えてくれていた人も多く、ほぼ完食状態でした。いつものんびりした文化図書委員ですが、事前にお茶を点てる練習会で特訓?して、パワー全開で取り組んでくれました。

2人目の、「昆虫博士ちゃん」は昆虫の擬態についてクイズ形式で話をしてくれました。「この写真のどこにいますか?」と聞かれても、「?」。まるで葉のような姿をしたオオコノハマシヤランに擬態するハナカマキリは、答え合わせをしても、まだどこが頭なのか羽なのかははっきりしないほど。なぜ擬態するのかなど、聞いていた私たちも、にわか虫博士ちゃんになれそうな知識を披露してくれました。

3人目の、「ペン回し博士ちゃん」は、自分のTikTok映像を紹介しながら、動画と実技を組み合わせた話。想像の上をいく技の数々に驚きの連続でした。ペン回しをしやすいペン、回すために特化した改造ペンの作り方の説明もありました。そして、実際みんなで回してみよう、とコツの伝授のあとには、みんなでチャレンジ。簡単そうに見えるのに難しかったですね。

メスは太っていて、重くて跳べないという話に思わず笑い。



自由自在に、指先でペンがくるくる回ります!

本の紹介

シャーロック・ホームズ、日本に現る?!

『シャーロック・ホームズ対伊藤博文』/松岡圭祐/角川文庫

事件でホームズが死亡したと思われることから再び現れるまでの8年間にホームズ研究家(シャーロッキアン)は「大失踪期間」と呼ぶそうです。その間に何をしていたのかについては語られていないのですが、その謎に秘められた期間、ホームズは秘かに日本に渡って、伊藤博文とともに難事件を解決していたというのがこの小説。

『シャーロック・ホームズの凱旋』/森見登美彦/中央公論新社

こちらは、ベーカー街221Bではなく京都・寺町通221Bに住むシャーロック・ホームズのお話。深刻なスランプに陥り、探偵としては開店休業の状態のシャーロック・ホームズ。その向いに、アイリーン・アドラーが探偵事務所を開業し、あっという間に名声を得ていくという展開。ワトソンはホームズを救済できるのか?!



コナン・ドイルのシャーロック・ホームズシリーズをオマージュしている作品を読む前に、まずは、コナン・ドイルから攻めるのもアリ!奈良教弘文庫助成金で、たくさんのミステリー小説を購入させていただきました。

昨年の王工祭の模擬店で見かけて、一目惚れをした足踏み式消毒スタンド!「すごく素敵!」と言っていたら、なんと電気研究部の3年生3人が図書室用に作ってくれました!直線と曲線のバランスが絶妙でしょう!色合いもおしゃれでしょう!

数年前の耐震点検のときに本棚が危ないと言われて、機械科さんが本棚に安全バーを設置してくれたと、前任の司書さんから聞いていましたが、本当に、想像できないような手作りの贈り物がやってくるんですね!次は、机上用消しカス掃除ロボットがほしいなあ...なんて(*´艸`*)

